

E047 静岡県河津町菖蒲沢海岸の沸石 (静岡県GEO DATA(28)特集4 : 地学散歩(107))

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡県地学会 公開日: 2024-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹林, 知大 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/0002000678

E047 静岡県河津町菖蒲沢海岸の沸石

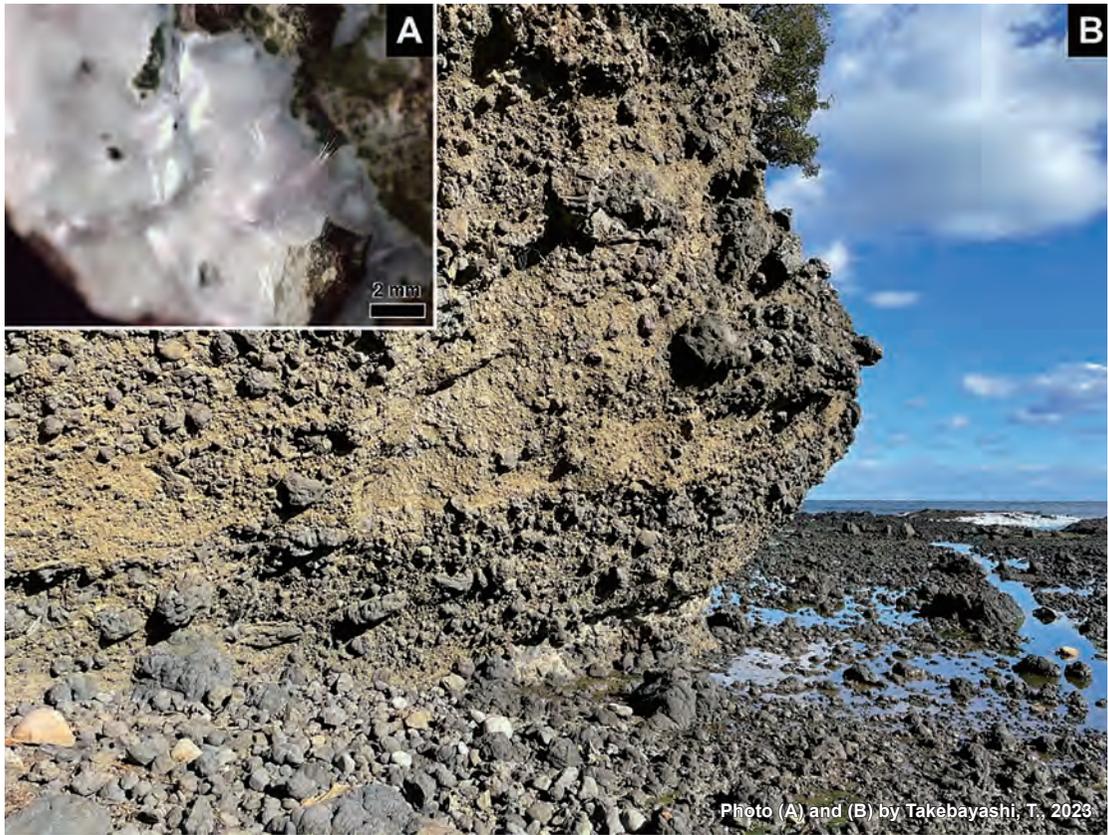


Photo (A) and (B) by Takebayashi, T. 2023.



国土地理院 地理院地図 (電子国土Web) 改変

静岡県伊豆半島東部の河津町にある菖蒲沢海岸、通称「ヤンダ」は、モルデン沸石 (図 A) $[(Na_2, K_2, Ca)Al_2Si_{10}O_{24} \cdot 7H_2O]$ や輝沸石 $[(Ca, Na)_{2-3}Al_3(Al, Si)_2Si_{13}O_{36} \cdot 12H_2O]$ など、多様な沸石を産する。露頭の地層は、足元に中新世の白浜層群最下部をなす玄武岩と切り立った崖に火山角礫岩から構成される。露頭には熱水変質の痕跡が残り、岩石に緑色の鉱物や白色の脈が発達している。玄武岩の内部には晶洞が発達し、沸石、犬牙状方解石、セラドン石などが見つかる。なおモルデン沸石は水に弱いので、海水がかからないように注意する。

菖蒲沢海岸で沸石を観察する際には、いくつかの注意が必要である。露頭の崖は非常にもろく、落石が頻繁に発生する (図 B)。訪問時はヘルメットで頭を保護し、周囲の安全を確認することが肝要である。また、海岸の潮の満ち引きで露頭が海水に覆われることもあるので、美しい沸石に集中しすぎて満ち潮や波に飲みこまれるなどの海難事故を起こさないように注意しながら観察することが望まれる。

(竹林知大)